

資料 3

科学技術・学術審議会 学術分科会
人文学・社会科学特別委員会（第 26 回）
令和 7 年 1 月 17 日

第 12 期人文学・社会科学特別委員会の審議状況について

人文学・社会科学特別委員会

（1）第 12 期における主な審議内容

- 人文学・社会科学の振興に向け、人文学・社会科学が主体の「共創型」プロジェクト研究の推進や、研究 DX に向けた基盤開発・整備、我が国の人文学・社会科学の研究動向に係るモニタリング指標の開発等について、調査・審議を行い、令和 5 年 8 月に「人文学・社会科学の振興に向けた当面の施策の方向性について」を取りまとめた。
- 人文学・社会科学の振興に向け、人文学・社会科学の現代的役割、新たな「知」の創出に向けた分野研究の深化及び異分野との連携・融合、新たな「知」の創出を支える研究基盤、研究成果の可視化・モニタリング、研究成果の国内外への発信の強化について、調査・審議を行い、令和 6 年 8 月に「今後の人文学・社会科学の振興に向けた推進方策について（中間まとめ）」を、令和 7 年 1 月に「今後の人文学・社会科学の振興に向けた推進方策について（審議のまとめ）」をとりまとめた。

（2）引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 第 12 期の審議を踏まえ、特に以下 3 点について、引き続き検討を行う。
 - 人文学・社会科学における研究基盤の在り方や、その活用方策・必要な支援について
 - 人文学・社会科学における共同利用・共同研究体制の成果、現状の課題、今後期待される機能や役割について
 - 人文学・社会科学の研究成果の可視化とモニタリングについて